

中野区運動あそびプログラムの取り組みについて

1、中野区運動あそびプログラム作成経緯

中野区幼児研究センターにおける中野区内の就学前の子どもの身体にかかわる実態調査、研究を進める中で、次のことが分かった。

○中野区の子どもたちは…

- ・ 幼児の身体能力の平均値は全国調査の結果と大きな違いはないが、個人差が大きい。
- ・ 一日の平均歩数と中強度以上の活動時間(※)ともに、他の機関の調査結果とくらべて少なめである。(※中強度以上の活動とは、普通歩行ではなく早歩きや走行などを含む活動。)
- ・ 特に、「投げる」「逆さになる」「腕で身体を支える」などの多様な動きや身のこなしの経験が不足している。

○このことから…

「すべての子どもの心身の健全な成長を促すためには、日常生活で身体を動かす経験が少ない子どもにも、幼児期から身体を動かす楽しさを感じる機会を保障することが必要である。」ということが明らかになった。

2、中野区運動あそびプログラム推進経緯

- H. 23年 運動あそびプログラム第1版区内幼児教育・保育施設へ普及・推進
- H. 24年 区立保育園における実践100%へ推進
- H. 25年 区内幼児教育・保育施設在園児4・5歳身体能力測定

身体能力の測定結果（抜粋）

全体的にみると身体の発達に伴い、どの身体能力種目も発達していた。身体能力各種目の測定値は、平均・分布ともに平成22年度と大きな違いは見られなかった。「ボール投げ」は、園外の場での経験の差が大きく、それが原因の1つであることが予想される。小学校以上の教育課程を考えると、ある程度は園でボールに触れたり投げたりする経験を保証する必要があるだろう。

『区立保育園における推進活動』

- H. 26年 ・ 昨年の身体能力測定結果より4・5歳児より前の乳児からの取り組み運動あそびに着目
・ 小学校「体力向上プログラム」へつながる取り組みを推進
- H. 27年 ・ 乳児からの運動あそび推進プログラム作成
・ 健康づくりフェスタにて地域在宅乳幼児向け推進活動
- H. 28年 ・ 中野区乳児からの運動あそび推進プログラム完成予定（学芸大吉田教授監修）
・ 区内幼児教育・保育施設在園児4・5歳身体能力測定11月実施予定

3、現在の運動あそびプログラム第3版普及割合

「運動あそびプログラム第3版」を日々の活動に(一部)取り入れている園数は6割。

	日々取り入れている	一部取り入れている	合計	割合
区立保育園 (19園)	12園	7園	19園	100%
私立保育園 (24園)	6園	10園	16園	66.6%
私立・区立幼稚園 (24園)	2園	8園	10園	41.6%
認証保育所 (19園)	2園	4園	6園	31.5%
合計 (86園)	22園	29園	51園	59.9%

27年度中の「運動遊びプログラム第3版」のアンケート（28年度当初実施）より